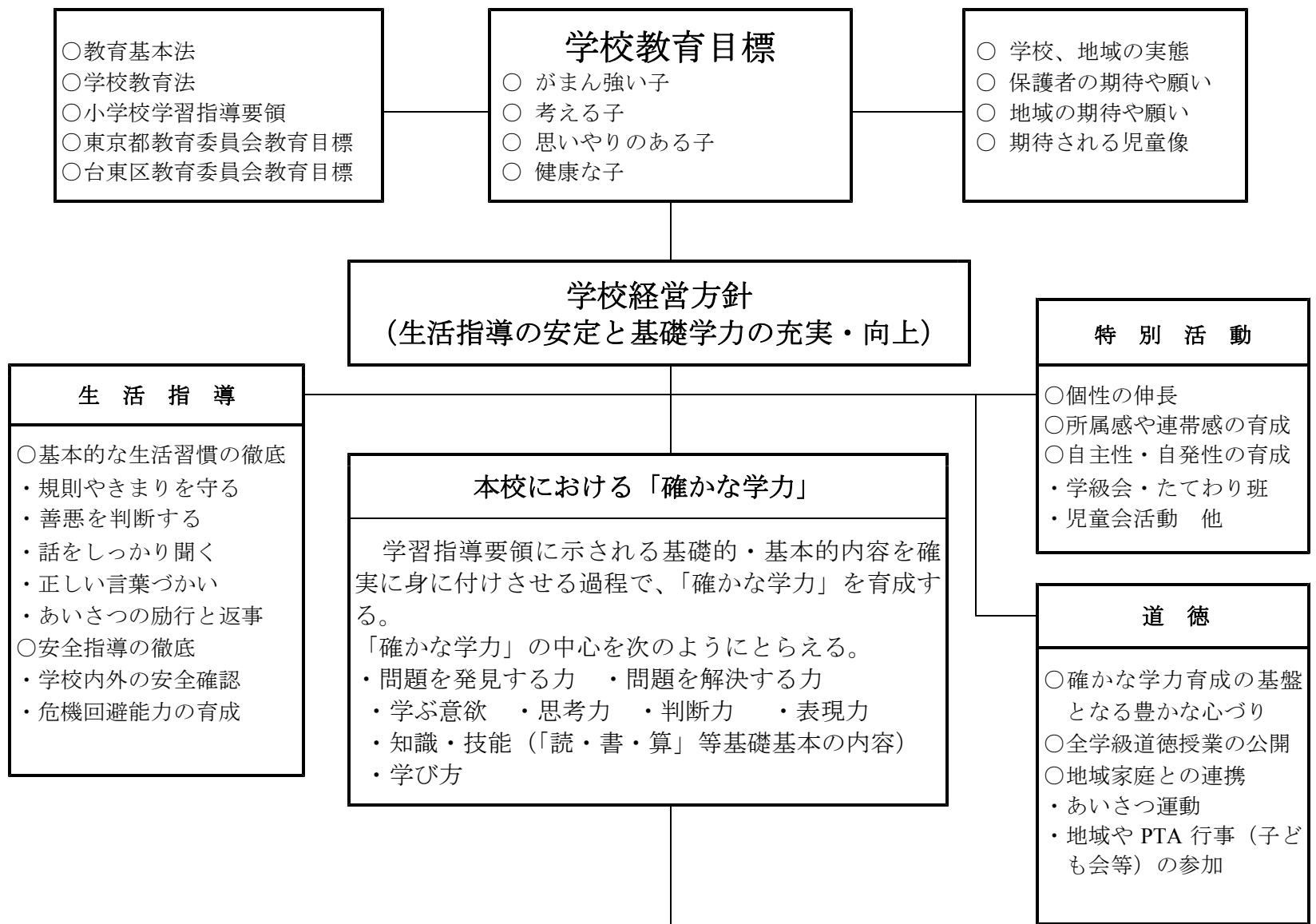


# 平成20年度 学力向上を図るための全体計画

台東区立忍岡小学校  
校長 蠣崎 正実



指導内容・指導方法	教育課程編成	研究や研修	評価活動	家庭や地域社会との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校である実態を生かし、個に応じたきめ細かな指導を充実する。</li> <li>・繰り返し指導や習熟に応じた指導を充実する。</li> <li>・問題解決の学習や体験的な学習を重視する。</li> <li>・土曜スクールの活用も含め補充的な学習や発展的な学習を指導計画に位置づけ実施する。</li> <li>・指導の効果を一層高めるために、一斉指導・個別指導等指導形態を工夫する。</li> <li>・学校外授業協力者及び学力向上推進ティーチャーや大学生等と協力して授業(TT)を行う。</li> <li>・生活科、総合的な学習等で、異学年合同授業を取り入れる。</li> <li>・パソコン操作を取り入れた授業を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事・諸準備に費やす時間数を必要最小限にし、余裕ある授業時間数を確保する。</li> <li>・朝学習(火、水、金15分×3=45分)を計画的に実施し、漢字や計算などの基礎基本が確実に身に付くようにする。</li> <li>・水曜日5校時の忍の時間を有効活用し、柔軟に進める。</li> <li>・弾力的な時間割作成・工夫を行い、TTや合同授業を実施する。</li> <li>・地域の文化遺産や自然環境を積極的に活用する。</li> <li>・学校外の専門的人材の参加協力を得た授業を実施する。(正しい日本語・言語力の向上、筆の指導、他)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PISA型読解力の向上に努める。</li> <li>・国語と算数における基礎・基本の確実な定着を目指す指導法を研究する。</li> <li>・国語科と他教科等の関連を図り、言語力を育成する。</li> <li>・国語科では、読みの指導を中心に、言葉の意味を深め、言語感覚を磨く。</li> <li>・算数科等では、自分の考えを説明したり話し合ったりする場を授業の中に意図的・計画的に位置付ける。</li> <li>・全学級道徳授業を公開し、道徳的実践力を高める授業力の向上に努める。</li> <li>・学習シートの工夫・開発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習活動を見通し、評価規準を作成する。</li> <li>・単元ごとに評価計画を作成し、個々の児童の学習状況を的確に把握し、指導と評価と支援の一体化を進める。</li> <li>・児童による自己評価を実施し、自己を振り返る力をつける。</li> <li>・学校運営連絡協議会、保護者等による外部評価を行い、より一層の授業改善を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習・生活指導全体にわたり保護者との連携を細かくとり、きめ細やかな指導を行う。</li> <li>・各行事ごとに保護者対象のアンケート調査を行い、地域、保護者の声を生かした教育活動に努める。</li> <li>・あいさつ運動、地域や子ども会などの行事等、家庭や地域と協力し、思いやりなど豊かな心を育てる。</li> <li>・各学期に公開日を設け、実施する。(計11日)</li> <li>・ホームページの作成と更新。</li> </ul>